

市駅前広場「つなぐ」 ワークショップ 通信

ひとの賑わいをつなぐ ひとの往来をつなぐ 松山の歴史・文化をつなぐ
みんなの願いを「つなぐ」交流広場へ

センス・オブ・プレイス

松山市駅前の場所性を高めるために

松山市では、松山市駅前広場整備事業（令和8年秋完成予定）により新しくできる交流広場を有効活用し、市駅前エリアの一角をさらに価値の高い魅力的な場所としていくための地域による主体的な活動が展開・推進されていくことを期待しています。

このため、市駅前のまちづくり活動等に係わる様々な関係者の方々と共に、新しく整備される交流広場とそこに関わる様々な人々を「つなぐ」ことをテーマとした計3回のワークショップを通じて、今後の活動展開に向けた具体的な取組を検討しています。

今回の第2回目のワークショップ（令和5年12月13日開催）では、市駅前が多くの人々にとっての「居場所」となるための「成功への仮説」の共有、「プロジェクトチーム」の結成、「短期試行プロジェクト」のワーキングを行いました。



—— みんなの願いを「つなぐ」^{まちなか}交流広場へ —— プロジェクトチームづくり！ 仲間と一緒にできることからはじめてみよう！

前回（第1回）のワークショップでは、まちあるきやグループワーク（意見交換）を通じ、ワークショップの参加者各自の「市駅前でしたいこと」（市駅前の交流広場でどのような過ごし方をしたいか、または活動していきたいか）を考えました。

今回（第2回目）のワークショップでは、この一人一人の「市駅前でしたいこと」に焦点をあて、これを一つ一つ実現させていくことが、松山市駅の場所性（センス・オブ・プレイス※）を育むことに繋がり、そして、多くの人々にとっての「居場所」となる交流広場が実現される（みんなの想いが繋がる）という「成功への仮説」を共有しました。

そして、まずは、「仲間づくり」（参加者同士をつなぐこと）が重要であるということで、この「市駅前でしたいこと」のイメージに従い、「のんびり過ごす」、「食べる・買い物」、「体験・参加・披露」、「居場所と繋がりづくり」の4つの取組テーマ毎に活動仲間となるプロジェクトチームを結成し、メンバー同士の理解と親睦を深めながら、チームビルディング（チームづくりのグループワーク）を行いました。

そして、チームごとに、それぞれのテーマの視点に沿って、各々が実現させたい今後の松山市駅前の将来像（ゴール）を設定し、そのために地域等で進めていきたい主体的な取組の方向性、そして、その活動のための第一歩として実際に実施していきたい短期試行プロジェクトの活動テーマについて、みんなで楽しく話し合いながら検討しました。

都市・交通計画課の職員もチームに参加！



のんびり過ごす



体験・参加・披露



食べる・買い物



居場所と繋がりづくり

◆ワークショップ参加メンバー（計28名が参加）

- 松山市駅周辺の地元関係者（商店街振興組合、商業施設等）
- 交通事業者
- お城下マルシェ、まつやま花園日曜市の関係者
- その他関係組織や大学生（UDCM・愛媛大学・松山大学）

※場所性（センス・オブ・プレイス）とは、まちづくり分野等で利用される専門用語（概念）であり、「人々がその場所を特別と感じる理由やつながり、その場所の見た目や歴史、そこでの体験・思い出などに根ざした、心地よさや愛着」などを意味するものです。

みんなの願いをつなぐ 方向性の共有

どの班（取組テーマ）にしようかな・・・

第1部 成功への仮説を立てよう！

■ 第1回ワークショップのふりかえり

オープニングトークとして、前回ワークショップの検討結果や参加者各自が回答した「市駅前でしたいこと」を共有し、新くなる市駅前の広場等で各々が「したいこと」をしていくことが市駅前の場所性を高める活動に繋がり、市駅前が抱える課題の解決にも寄与することを共有しました。

そして、「自分自身ができること」を確認しあい、今後の市駅前では、仲間づくり（様々な関係者同士が繋がりあうこと）が重要であることを再度確認しました。

■ 取組テーマの選択（チーム毎の仮説）

各参加者が「市駅前でしたいこと」をベースに右の4つの取組テーマ（①～④）別にチーム選択（班分け）をしました。



プロジェクトチームをつくろう！

第2部 チームビルディング

■ チームビルディング

同じ取組テーマを選んだ仲間同士と結束力のあるチームをつくり、メンバーについて理解を深めるための自己紹介をしました！自己紹介では、基本情報（職業や普段の活動内容）の他、関連性（自分と市駅前の関係性）、ビジョンと関心事（広場整備後のまちに対する期待・テーマを選択した理由）そして自己開示とPR（自分の得意なこと・苦手なこと）について話しました。

■ ゴールの設定

「私は松山市駅前をこんな場所にしていきたい」など、各自の思いをメンバーに伝えました！全員が話した後は、みんなの意見を聞いて思ったことを連想ゲームのように広げて、チームメンバー間で理解を深めるとともに、チームとしての取組の方向性や目指すゴール（市駅前の将来像など）について意見交換をしました！

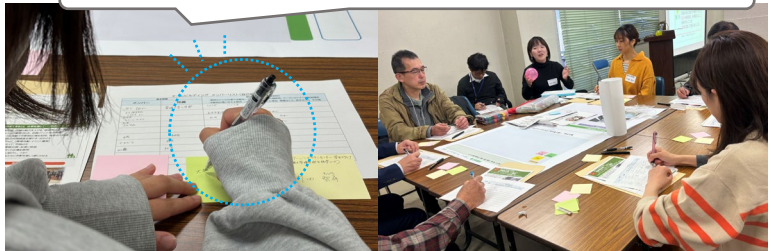
実は・・・こんなことは・・・苦手なんです。

ボールを持った人が発言し、発言後はボールを次の人に渡します！



チームビルディング：メンバー間の自己開示はチームの結束力を高めます

メンバーの情報はしっかりメモを取り、みんなの意見を尊重します！



みんなでプレイス・メイキング～！

第3部 プロジェクト・ワークショップ

■ 仲間と共にすぐにはできることの検討

チームとしての方向性や目指すゴールを踏まえ、仲間と共にすぐにはできる取組（短期試行プロジェクト）について考えました！

短期試行プロジェクトについては、まずは小さなことから初めてみようということで、LQC（Lighter [手軽に]、Quicker [すぐに]、Cheaper [安く]）の視点を重視し、自分たちでできる範囲で何ができるかについて考えました。

取組内容に加え、ターゲット層や、この取組の本当の目的は何かなども深掘りしながら話し合い、みんなの「願い」を実際に実現させたい「願い」へと変換させていきました。

■ 全体発表

最後に、各班で検討した今後の取組の方向性や短期試行プロジェクトの活動内容などを発表・共有しました。市駅前広場という同じ場所であっても、班ごとに特色が異なるユニークなプロジェクトが練られており、全員が「期待」を持って聞いていました！

▼全体発表の様子（各班）



各チームのプロジェクトの提案の内容は

次のページ >



ゴールの設定 (将来像・ターゲット)

多くの人々が賑わう新しい市駅前を期待しつつ、
治安の良さ・美化を意識した“のんびりできる場”を実現させたい！

取組の方向性 (具体的な活動)

今後の地域による主体的な活動の方向性

ハード面

- リクライニング椅子などのレンタルサービス
- ドッグラン (芝生広場の時間貸)

治安

- きれいに使おうと思わせるデザインのベンチやゴミ箱の設置、空間づくり
- 負担のない気楽にできる見回り・監視カメラの設置

イベント

- ボーッとする大会の開催
- 他の地域の取組・成功例を知る
- 意見交換をする
- 清掃・見回りイベント
- いろんな商店街を巻き込む
- 自転車の管理 (シルバー人材センターさん)

小さな取組から初めてみよう！

手軽に 早く 安く
Lighter, Quicker, Cheaper

そのために、すぐにできること、こんなことをしてみたい LQC!

プロジェクト名 きれいな場所でボーッとするプロジェクト

▼ 提案する短期試行プロジェクトの内容 (手軽に、早く、安く、来年できることの提案)

ターゲット層

- 来訪者・来街者
- 自分たち (のんびりしたい全世代)

このプロジェクトの目的

- ゴミを少なくしてきれいに保つ
- 誰もが安心して利用できる“安全性”を保つ (市駅前を綺麗に使いたい方が集まるように)

来年度実施したいこと [LQCプロジェクトの方向性]

- ボーッとする大会の開催 (どう“ボーッとするか”を考える) Yogiboが協賛?
- 日なたぼっこができるような空間づくり (日かげの空間でいかに日向ぼっこするか検討)
- みんなでゴミ拾い大会、みんなで見回り大会の開催



先日テレビでみた「TOKYOボーッとする大会」すごく面白そう！



とりあえず、ボーッとする大会の前は、「ゴミ拾い大会」をやってみよう。地域の中や地域の外には、どのくらい協力してくれる人がいるかなど、今後の取組課題もみえてきそう！



治安の維持や美化は費用も必要。他のマチでは、どうしてるのかな？お金の出どころや仕組み・工夫点などの事例も知りたいな。

A班：チーム「ぼーっとする」の皆さん



ゴールの設定 (将来像・ターゲット)

地域の人に愛媛の食や花園町周辺の飲食店の魅力を伝えたい
そして、“食”を通じて、「人」と「広場」をつなぎたい

取組の方向性 (具体的な活動)

今後の地域による主体的な活動の方向性

(今までの花園町での産直市やお城下マルシェの経験を活かして)

- 毎月イベント、色んなテーマに沿った食品の販売イベント (例: 甘い、辛いなど)
- 産直市や物産展 (愛媛県ならではの“食”を市駅前に訪れた人に堪能してもらう)
- 路面電車の待ち時間など、ちょっとした時間に愛媛の食べ物を楽しんでもらいたい!
- キッチンカーでの出店もやりたいけど、資金が必要・・・。

小さな取組から初めてみよう!

手軽に 早く 安く
Lighter, Quicker, Cheaper

そのために、すぐにできること、こんなことをしてみたい LQC!

プロジェクト名 周辺の飲食店の料理を広場に届ける宅配サービス

▼ 提案する短期試行プロジェクトの内容 (手軽に、早く、安く、来年できることの提案)

ターゲット層

- 市駅の利用者 (学生・家族連れ)
- 近隣の方々
- 観光客

このプロジェクトの目的

市駅前周辺や花園町のポテンシャルがある
お店を1人でも多くの人に知ってもらうこと

来年度実施したいこと [LQCプロジェクトの方向性]

- 花園エリアの飲食店と連携した宅配サービス (アプリによる出前仲介サービスのリアル版??)
 - ・ 屋外に飲食スペースをつくり、そこで注文することで、食べ物をそこまで届けてくれるようなサービス (自分たちが走ってお店まで行って、注文して、市駅前のお客さんに届けよう!)
 - ・ テント等は、マルシェの出店等で使っているものがあるので、各自で準備しよう。



市駅前や花園町にあるお店は、すごくポテンシャルがあるけどまだ知らない人も多くもったいないという意見があったので、1人でも多くの人に知ってもらえるようなプロジェクトをしたいと思います!



飲食スペースを作っても、多くの人に認知してもらうためには誰かに座ってもらわないといけません。そのための過程やサービスの仕組みをどのようにして伝えるのか (告知) やオペレーションの難しさが今後の課題です。



ゴールの設定 (将来像・ターゲット)

Liveで市駅をもっと、もっと盛り上げたい

“野外コンサートライブ”

を実現させる!



将来的には“野外フェス”をやれたらいいな! (カッコいい人気アイドルグループを呼びたい!!) いきなりは難しいと思われるので…**まずは小さなことから、コツコツとできることから初めてみよう!**

取組の方向性 (具体的な活動)

今後の地域による主体的な活動の方向性

①まつやま年中文化祭

②日曜10時の交流祭 in市駅

③市駅前野外フェスティバル➔ ④市駅前野外F E S!



音楽だけでなく、映画上映やキャンドルナイト等も含めて、文化祭的に開催してみたい! 「日曜10時の交流祭 in市駅」は、日曜日の10時に市駅に来たら、交流したい人が、何かしらの交流ができるようなイベント。そんなことが開催できればいいなという「願い」を込めています!

小さな取組から初めてみよう!

手軽に 早く 安く
Lighter, Quicker, Cheaper

そのために、すぐにできること、こんなことをしてみたい LQC!

プロジェクト名 Live! Live! Live! しえきまえ♪

▼ 提案する短期試行プロジェクトの内容 (手軽に、早く、安く、来年できることの提案)

ターゲット層

- 若い人 ■ファミリー層 ■観光客
- 高齢者 (高島屋で座って休憩している方以外に出て元気を出してもらいたい)

このプロジェクトの目的

- 色んな人がジャンルを問わずチャレンジ・発信できる場にする
- 学生が音で盛り上がるまちへ!
- 市駅前を“思い出の場”にしてもらうこと

来年度実施したいこと [LQCプロジェクトの方向性]

音楽を
たのしむ

- アカペラライブ
- ストリートピアノ

映像を
たのしむ

- レイトショー (アニメや映画)
- W杯やオリンピックなどをライブビューイング

季節に
あわせた
空間づくり

- クリスマスマーケット
- キャンドルナイト
- 聖歌隊

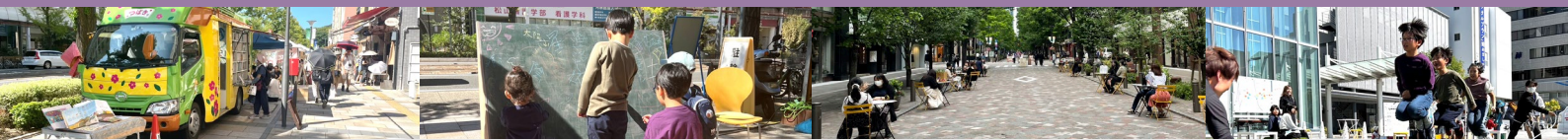


将来的には市駅前で“野外フェス”をやれたらいいな! (カッコいい人気アイドルグループを呼びたい!!) いきなりするのは難しいと思われるので、**まずは小さなことから、コツコツとできることから初めてみよう!**



みんなで大画面でアニメや映画を見たり、Wカップやオリンピックが開催される時期には、ライブビューイングをしたら**まちがすごく盛り上がりそう!**

C班: チーム「Liveで市駅を盛り上げたい!」の皆さん



ゴールの設定 (将来像・ターゲット)

「新しい市駅前」を『新しい目的地』にする
～市駅前に来てもらうきっかけをつくり、新しい人々を呼ぶ～



普段から通勤・通学などで市駅前を利用する人だけではなく、普段、市駅前にはめったに行かない方や、まだ1度も市駅前に来られたことがない方にも、来てもらえるような場所にしたい！

取組の方向性 (具体的な活動)

今後の地域による主体的な活動の方向性

①新しい人たちに市駅前に来てもらう&②様々な人たちに長期にわたり市駅前に関わってもらうための仕組みづくり



継続的な取組とする組織づくりやみんなが広場を活用するためのルールや仕組みづくりも必要！

小さな取組から初めてみよう！

手軽に 早く 安く
Lighter, Quicker, Cheaper

そのために、すぐにできること、こんなことをしてみたい LQC!

プロジェクト名 みんなでつくる手作りクリスマスマーケット 

▼ 提案する短期試行プロジェクトの内容 (手軽に、早く、安く、来年できることの提案)

ターゲット層

- クリスマスを楽しみにしている人たち
- クリスマスを楽しみたい人たち
(クリスマス前～クリスマス当日まで)

このプロジェクトの目的

- クリスマスイベントをきっかけに、
- 市駅前が“新しい目的地”になること
- 新しい場所を知ってもらうこと

来年度実施したいこと [LQCプロジェクトの方向性]

- お城下マルシェと連携したクリスマスマーケット (世界の料理・ホットワインを楽しむ！)
- クリスマスに向けて、みんなでクリスマスツリーをつくろう！
 - ・ クリスマスツリーの材料となるペットボトルの蓋の回収BOXを市駅前に設置する。
 - クリスマス前には、みんなが集めた素材で、みんなで集まり、ツリーをつくる (アーティスト監修)



一過性のイベントではなく、市駅前広場のテーマである“つなぐ”をどのように作っていくのかを考えました。



市民の人たちに、1度きりのイベントではなく、長期に渡って市駅前に関わってもらえる仕掛けを作るためにも、取組に参加をしてもらうことも重要！



クリスマスツリーの製作にご協力いただける方がいれば、ぜひお願いします！

D班：チーム「匠」の皆さん